

乳液の低エネルギー製造プロセスの開発

スキンケア用乳液の製造プロセスについて、従来一般的であった、すべての原料を一旦加熱し乳化してから冷却するという方法を見直し、一部の原料を加熱して高濃度の乳液を作り、それを常温の水分で薄めながら自然に冷却させることで、加熱のエネルギーを低減できることに加え、冷却のプロセスそのものが不要となる新製法を開発した。

この新製法により、処方も品質も変えることなく、これまで加熱・冷却に要していたエネルギーを大幅に削減することができ、従来に比べ約65%のCO₂の削減が可能となった。

この乳液の低エネルギー製造プロセスは、「ばら園ローズボディーミルク RX」に最初に導入され、その後、他の製品にも順次導入されている。

